

国情研コ第 66 号
平成 28 年 7 月 21 日

国立大学図書館協会
公立大学協会図書館協議会 各加盟館の長 殿
私立大学図書館協会

大学図書館と国立情報学研究所との
連携・協力推進会議委員長
慶應義塾大学メディアセンター所長
赤 木 完 爾

2017 年以降の SCOAP³ プロジェクトへの参加について（依頼）

日頃より、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議の活動にご協力を賜わり、誠にありがとうございます。

さて、高エネルギー物理学（HEP）分野の査読付き学術雑誌論文のオープンアクセスを実現する国際連携プロジェクト「SCOAP³ (Sponsoring Consortium for Open Access Publishing in Particle Physics)」は、2016 年 12 月に当初の 3 年の期間が終了します。

開始前に想定された以上の論文投稿により、2014 年 1 月の開始から僅か 2 年の 2016 年 3 月に、早くもオープンアクセス化された論文が 10,000 論文に達し、実質的な論文出版加工料（APC）相当額が低く抑えられているなどプロジェクトが多大な成果を挙げていることから、SCOAP³ 参加各国の代表者で構成される Governing Council において、2017 年～2019 年をフェーズ 2 として、同プロジェクトが継続される運びとなりました。

このプロジェクトの継続には、従来対象学術雑誌の購読料を支払ってきた大学図書館等からの支援が引き続き不可欠であることから、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議では、2016 年 9 月に、国内各大学図書館等に対し、改めてフェーズ 2 へのご協力を依頼し、参加のご意向を確認させていただき予定であり、既に「SCOAP³ タスクフォース」を設置してその準備を進めております。

つきましては、フェーズ 1 にご参加いただいている機関におかれましては引き続きフェーズ 2 への参加のご準備を、残念ながらフェーズ 1 にはご参加いただけなかった機関におかれましてはフェーズ 2 からの参加のご検討をいただきたく、予めお知らせいたします。

SCOAP³ プロジェクトに係る現在までの状況につきましては、別紙をご参照いただきますようお願いいたします。

なお、本文書に御回答いただく必要はございませんので、念のため申し添えます。

連絡・問合せ先

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

SCOAP³ タスクフォース事務局

国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課

担当：吉田

電話番号：03-4212-2302（直通）

メールアドレス：scoap3_office@nii.ac.jp

SCOAP³ プロジェクトに係る状況について

1. SCOAP³とは

SCOAP³ (Sponsoring Consortium for Open Access Publishing in Particle Physics) は、欧州合同素粒子原子核研究機構 (CERN) が主導する、高エネルギー物理学 (HEP) 分野の査読付き学術雑誌論文のオープンアクセスを実現する国際連携プロジェクトです。

世界各国の研究助成団体や図書館がコンソーシアムを形成し、従来図書館が出版社に支払ってきた購読料を論文出版加工料 (APC) に振り替えることで、HEP 分野の主要な学術雑誌のオープンアクセスを実現するものです。

※ 従来のモデルと SCOAP³ のモデルの違いについては、以下の図をご参照願います。

→ <https://www.nii.ac.jp/sparc/scoap3/pdf/fig1.pdf>

2. フェーズ 1 (2014 年～2016 年) の状況

2012 年 7 月に、7 社 12 誌が対象雑誌となることが発表されましたが、2013 年 6 月になって American Physical Society (APS) が一方的に離脱したことで、最終的には、APS の 2 誌を除く 6 社 10 誌が対象雑誌となりました。

全世界で 47 か国が参加し、2014 年 1 月から対象雑誌のオープンアクセスによる提供が開始され、2016 年 3 月には、本プロジェクトによるオープンアクセス論文が 10,000 論文に達しています。

3. 日本におけるフェーズ 1 の取組状況

2007 年 7 月に CERN から各国の関連機関に「関心表明書 (Expression of Interest : EoI)」の提出依頼がなされ、日本からは、2011 年 9 月 21 日に、国立情報学研究所、国公私立大学図書館協力委員会、高エネルギー加速器研究機構の連名による EoI が提出されました。その後、2012 年 11 月に国立情報学研究所 (NII) が 3 者を代表して日本の National Contact Point となりました。

国内の大学図書館等に対する参加意向確認を経て、2013 年 12 月に、NII を代表として CERN との間で覚書 (Memorandum of Understanding : MoU) を締結し、本プロジェクトの正式な参加国となりました。各国の個々の参加機関はパートナーと呼ばれており、フェーズ 1 における日本のパートナー機関は 34 機関です。

各国に期待される拠出総額は、過去に対象雑誌に掲載された HEP 分野の論文数の国別割合に比例して算定されており、日本の論文数は世界全体の 7.1% のシェアを占めています。残念ながら、34 機関からの所定の拠出総額だけでは、日本に期待された金額の 7 割以下しか拠出できていない状況となっています。

4. フェーズ 2 (2017 年～2019 年) の動向

論文総数の増加に比例して、各国にフェーズ 1 の実拠出額の 2%増の拠出が求められる見込みです。また、フェーズ 1 において期待された全額を拠出できていない国（全 47 か国中、該当するのは日本を含め数か国という状況です）には、追加の拠出が求められる見込みです。

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議では、拠出額の 2%増については、各大学図書館から拠出いただく額も 2%増とさせていただく方向で検討しています。日本は、全体の 7.1%を占める世界第 4 位の論文投稿国であることを踏まえ、この分野の学術コミュニティを交えた検討を行う必要があると認識しています。

なお、フェーズ 2 では、Institute of Physics Publishing(IOPP) の 2 誌 (『New Journal of Physics』『Journal of Cosmology and Astroparticle Physics』) が、APC 額の交渉で合意に達しなかったことから、対象雑誌が 6 社 8 誌となる予定です。対象外となる 2 誌については、今後の IOPP からの情報にご留意願います。

SCOAP³の詳細については、以下のサイトも参考にしてください。

(CERN による案内) <https://scoap3.org/>

(日本国内向けサイト) :<https://www.nii.ac.jp/sparc/scoap3>

(参考)

①対象雑誌

出版社	タイトル	備考
Elsevier	Nuclear Physics B	
	Physics Letters B	
Hindawi	Advances in High Energy Physics	
IOP Publishing/Chinese Physical Society	Chinese Physics C	
IOP Publishing/SISSA	Journal of Cosmology and Astroparticle Physics	フェーズ2 では対象 雑誌から 除かれる 予定
IOP Publishing/Deutsche Physikalische Gesellschaft	New Journal of Physics	
Jagellonian University	Acta Physica Polonica B	
OUP/Physical Society of Japan	Progress of Theoretical & Experimental Physics	
Springer	European Physics Journal C	
	Journal of High Energy Physics	

②フェーズ1 国内参加機関

北海道大学	九州工業大学
東北大学	熊本大学
山形大学	高エネルギー加速器研究機構
茨城大学	国立情報学研究所
筑波大学	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所
千葉大学	理化学研究所
東京大学	青山学院大学
東京工業大学	慶應義塾大学
新潟大学	国際基督教大学
信州大学	東海大学
名古屋大学	東京女子大学
名古屋工業大学	日本大学
京都大学	明治大学
大阪大学	立教大学
神戸大学	早稲田大学
広島大学	立命館大学
九州大学	関西学院大学